

第1回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 17日(水) 19時00～21時00		
市町村名	堀金・三郷村	グループ名	三郷村第2グループ
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

県のオブザーバーからパンフレットに沿って高規格道路について説明があったのち、メンバーが自己紹介と意見を述べた。

- 現在の三郷村についてどう思うか。
- 静かで、帰ってくるとほっとする。
- アルプスの麓にりんご畑や田んぼが広がっている、世界に誇れる景観だと思う。
- 安曇野は農業をしたいと思っている人には魅力的で理想的なところ。りんごはブランドとして有名になっている。
- 広域農道を作ってから専業農家は減り、松本や遠くで働く人が増えている。
- 農地が減ってきている。減反で田が減り、りんごも切られている。残すべきものが失われてきている。
- 高規格道路のメリットがあげられたが、それらについての意見が多数出た。

<メリット 高速交通ネットワークの形成による交流と連携の強化>

- 確かに東京に行くよりも海に行くほうが時間がかかる。
- 小谷村に行くまでに大きな道路、トンネルが出来、便利になった。十分交通には足りていると思う。
- 大町まで5本(山麓線、広域農道、51号線、147,148号線、オリンピック道路)道路がある。
- 松本とつながらな三郷を通る必要はない。
- 遠くの人のために住民が蹂躪されることになると思う。

<メリット 農業や観光・商工などの地域産業の振興・発展に寄与>

- 高速道路のように盛り土して作ると気流が変わる。農作物に影響が出るだろう。
- 普通道路以上に塩カルをまくだろう。さらに、ふんじんや排気ガスの大気汚染による農作物への影響も・・・
- 安曇野へ観光へくるのはこの景観が目的で来ている。本末転倒だ。
- 速く通りすぎるだけで、りんごを買ってくれるとは思わない。地元の経済が良くなるというのはおかしい。
- 自然を破壊し、便利を追及し、金銭的ゆとりのみを「ゆとり」としている考えは止めるべきだ。

<メリット 日常生活の交通と物流など通過交通の分離による交通安全の確保や交通渋滞の解消及び病院へのアクセスが良くなるなど生活利便性の向上>

- 渋滞は主に朝夕松本塩尻方面に通勤する車で、などにおきている。2車線にしたり、橋を広げたり、信号を減らすなど別の方法を考えるべき。
- 広域農道など村の主要な道路は幅が狭く、歩道も整備されていない。これらを整備し子供、老人が安心して使える道にすることが先決。

第 1 回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 17 日 (水) 19 時 00 ~ 21 時 00		
市町村名	堀金・三郷村	グループ名	三郷村第 2 グループ
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		
○ デメリットについても 自然環境・景観への影響 集落の間を通過することによる地域の分断 既存の沿道商業施設などへの影響 建設に伴う事業費を供用後の維持管理費 ○ 別のアセスメントで以前知っている場所の植物分布図の植生が異なっているのを指摘したが、直されず信用できない。 ○ 三郷村は財政困難と言われている中で作れるものなのか。 ○ 1km30 ~ 50 億円というと 1cm5 万円かかる道路と言える。そんなに高いなら村内の道路の歩道を整備する方が安い。 ○ 「整備費は市町村の負担ではない」と言って、「工事費」は別だなど言葉に隠された費用があるのではないか。 ○ 今回、オブザーバーに対して出された質問と答え。 ○ 市町村の負担がないというのは本当か？ ○ 全国的に高規格道路は出来ているのか？ → 多く出来ている。基本的に高速道路に結ぶように作られている。 ○ 幅はどのくらいか？ → 4 車線で 20m。(片側 2 車線) ○ 「環境影響評価 (アセスメント) はしているのか？ → 実際のルートを決めてからになる。 ○ ルートは誰が決めるのか → こういう説明会を多く開いて、その意見の中から県の判断をしていく。まだ誰が決めるとは決ま っていない ○ 地域に古くから住んでいる人の意見を聞いて欲しいか？ → こういう説明会を 3 回くらい開くので、その中に自主参加して欲しい。これらが地域の意見とな る。 ○ 資料提供依頼用紙を活用し、パンフレット「 現在に至るまでの経緯」で昭和 50 年代に道路建設の 要望書を県から国に提出したという、この要望書を頼んだ。 (資料の保管期間ということもあり、あるかどうか分からないが調べてみるということだった。) ○ 次回は 11 月 5 日 19 : 00 ~			